



なばり

2015年(平成27年)

1月4日発行

主な内容

- 1~2……新春特別企画 家の数だけあるお雑煮のカタチ
- 3……高額医療・高額介護合算療養費制度をご存じですか?
- 4……新春特別企画 フェイスブックに寄せられたなばりの「いいね」

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

2015年新春特別企画①

家の数だけある お雑煮のカタチ



謹賀新年

具材もだしもさまざま わが家のお雑煮

お正月に食べる料理と言えば「お雑煮」。お正月に神様に供えたお下がりの餅や野菜、各地の産物を家族と一緒に食べるもので、地域や家庭によって味はさまざまです。今号では、ポランテアで食を通じた健康づくりを進める食生活改善推進員の皆さんに、わが家で食べているお雑煮や、出身地のお雑煮を紹介していただきました。

☎健康支援室 ☎63・6970

ユネスコの無形文化遺産に平成25年12月、「和食」が登録されました。「和食」は、年中行事と密接に関わって育まれ、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。その中でも、お正月に食べるお雑煮は、室町時代から食べられている伝統的な料理で、地域によって使う食材や味付けが異なる、面白い和食です。特に名張は、近畿、中部の境に位置し、食や文化でも両方の地域から影響を受けています。そんな地域である名張では、各家庭で、さまざまなお雑煮が食べられています。

このお正月は、お雑煮を食べながら、わが家のお雑煮のルールやこだわりについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

※2ページには雑煮を紹介しています。

2015年新春特別企画②

今年の一文家

今年の名張市の世相や抱負などを表す一文字を、市長と市議会議員が選びました



名張市長 亀井 利克

「人口を増やす、税収を増やす」そんな決意から、「増(ふやす)」を今年の一文字といたしました。

人口減少社会と東京一極集中による地方の衰退が問題となる中、この3年の間に少子化と人口減少に歯止めをかけるシステムを構築しておかなければ手遅れになりかねません。

今年は、就労、婚活、結婚、住宅施策、妊娠、出産、育児、教育へとつながる切れ目のない支援へ向けた総合戦略を策定し事業を進め、明るい話題も増えるような年にしたいと思っています。



名張市議会議員 吉住 美智子

今年の抱負は「創」の一文字といたしました。創造の「創」です。新しい考え方で、今までになかった新しいものを産み出すという意味です。

名張市議会では、市民に分かりやすい議会運営を目指し、昨年12月から、地域づくり組織単位で議会報告会を実施させていただいているところです。

さらに、IT化の推進など新たな工夫や発想で、今後も議会改革を進めてまいります。

市民の皆様と議会をつなぐコミュニケーションを確立し、住み続けたいまち「なばり」を創っていききたいと思っています。